

福まち通信

第 4 号

発行 平成29年7月20日

発行責任者 センター長

西岡会館 4条5丁目8-21

電話・FAX 854-0537

夏本番です。外出の際は、熱中症などに十分注意し、夏バテにならないように注意してください。毎月3日は、「見守りの日」です。ひとり暮らしの方のサポートをいつも心掛けて行きましょう。

7月の行事

- 3日(月) 札幌市「見守りの日」
- 7日(金) 西岡げんきランド・七夕まつり
- 11日(火) 第3回代表推進員会議
イオンの日
- 19日(水) 西岡げんきランド
- 31日(月) 第4回役員会議

8月の行事予定

- 3日(木) 札幌市「見守りの日」
- 8日(火) 第4回代表推進員会議
- 11日(金) イオンの日
- 22日(火) 西岡げんきランド
- 31日(木) 第5回役員会議

☆『ふれ愛交流会』の準備状況のお知らせ

7月11日(火)の代表推進員会議において、交流会の準備状況が報告、了承されました。

◇お手伝いの推進員に関しては、代表推進員が、これまでの町内会の高齢者参加者数を考慮し、町内会毎のお手伝いの人員をとりまとめし、福まちの事務局に7月20日(木)までに連絡する対応とする。

◇催しもの ○ちびっこ体操：西岡福住地区センターで練習の体操グループ(幼稚園年長～小学校低学年)15人程度

○器楽演奏：にしおか会館のオカリナグループに出演依頼(昨年同様)

◇弁当 昨年同様に札幌駅立売商会の「いろどり弁当」とする。

◇その他 プログラムなどは8月8日(火)の代表推進員会議(実行委員会)で協議予定

☆福まち活動に関するアンケートのとりまとめ結果(第1次)について

主に高齢者の見守り・サポート活動や茶話会活動について、アンケート形式で各町内会の代表推進員の方に3～5月のスケジュールで記入し、提出していただきました。

そのとりまとめ結果(第1次)を第3回代表推進員会議(7月11日)に報告いたしました。

これにつきましては、まとめ内容をさらに整理の上、別途、推進員や関係機関にお届けいたします。

☆福まち第1回安心安全研修会の開催結果～福まち推進員の役割について～

福まちでは、推進員を中心とした研修会を年3回開催しています。

去る6月21日(水)10:00～11:30にしおか会館で、推進員、町内会(自治会)長、関係機関、全部で71名と多くの方の参加の中で、第1回の研修会を開催しました。

◇押木センター長の開会あいさつの後、最初に各地区の新任の推進員6名に委嘱状を手渡し、福まち活動の推進をお願いしました。(西岡地区全体で14名の新任推進員の内、当日6名の方が参加)

◇今回の研修会は、関係機関3人の方に「福まち活動について」話題提供を頂き、勉強しました。

その要点をお知らせいたします。

◇話題提供 その1～福まちの推進員の皆さんにお願いしたいこと～

豊平区社会福祉協議会 事務局長 大崎 茂己 氏

○福まち活動の基本ベース

町内会活動が基本ベースですが、日頃の見守りでは町内会に加入していない方にも目配りを願えればと思います。

○福まち推進センターの歴史と活動

昭和 27 年に札幌市に社協の組織が誕生し、その後、順次市内に地区社協ができ、活動が広がりました。西岡地区は、平成 10 年に組織ができ（※福まちは社協の実働部隊）、来年は 20 年を迎えます。

○高齢化社会の中での見守り活動

札幌市は既に超高齢者社会に突入—高齢化率 24.7% 中でも西岡地区は 30%超(30.4%) 単身世帯は、市内全体で平成 17 年 62 千所帯が、平成 27 年には 94 千所帯と大幅に増加 さらに 10 年後の平成 37 年は 123 千所帯と倍増の予想(試算)となっています。この様な高齢化社会では、地域の方々の支え合いが本当に大切です。

西岡地区は、ひとり暮らしの高齢者(70 歳以上)が約 600 名、その見守りを推進員の方(※約 150 名)が、それぞれに担ってもらい、しっかりと地道な活動が定着しています。

おれおれ詐欺も豊平区内で 7 件(2 千万円の被害)発生、見守りの中で是非サポートしてください。見守りは色々な機会に、さりげなく、無理のないやり方で対応をお願いします。

○関係機関との情報共有、連携を

見守り活動は、関係機関との情報の共有、連携が大切です。町内会役員、地区の民生委員などと、連携し、色々な情報を共有することで無理のない活動にもつながると思います。

○赤い羽根共同募金のバッジの PR

最後に赤い羽根共同募金のバッジ(豊平区のオリジナルデザイン羊ヶ丘クラーク像)に協力をお願いします。(1 個 5 百円) ※なお、当日用意のバッジ(20 個)は、全て完売しました。

◇話題提供 その2～福まち活動のポイントについて～

豊平区 保健福祉部保健福祉課保健支援係 保健師 菅原 有希 氏
豊平区第2地域包括支援センター 主任介護支援専門員 森 めぐみ 氏

○高齢者の見守りのポイント—推進員用の手もと資料～こんなところに注意を！～

見守りにおいてのチェックポイントを整理し網羅した資料の原案を説明。

- ・ご本人に会って気づくポイント
 - ・家の中を見て気づくポイント
 - ・外から見て気づくポイント
- この3つの区分で、それぞれのポイント項目を列挙

今後、完成版(ミネート加工)を作成し、推進員の手もと用に配布の予定です。

○さらに、見守り先の高齢者に配布するリーフレット(チラシ的なもの)の活用

高齢者の方が、何か困った時や、相談ごとがある時などに活用できるように、関係先の電話番号を記載したリーフレットを作成の予定。配布、活用の方法は、町内会の中で相談し対応してください。

○これらの資料(活動用資材)については、見守りに役立てばとの思いで、一寸した参考に活用願います。作成後、別途、代表推進員経由で連絡いたします。

◇質疑応答

話題提供の後、2～3の質疑がありました。主なものをご紹介します。

○介護保険の内容や申請手続き、ディサービスなどに関しては、

豊平区・保健福祉課の菅原さんから、豊平区や包括支援センターが相談にのって対応しますとの応答

○また、認知症の徘徊(防止)対策に関しては、

包括支援センターの森さんから、SOSネットワーク、機器などを活用した対策について、若干の説明がありました。

(以上)